

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	開設1年未満ということもあり、避難訓練の実施回数が少ない。また、職員の防災意識も低い。	入居者様を含めた避難訓練や地震災害に関するシミュレーション、避難場所の確認、備蓄品の準備に努めるとともに、職員の防災意識を高める。	避難訓練は年2回予定しているが、入居者様も一緒に参加していただく(うち1回は夜間を想定したものとする)。また、事業所内で地震災害に関する研修を行い、職員の意識啓発を図る。備蓄として水や食料も準備する。	6ヶ月
2	2	地域とのつきあいが少なく、知名度や存在感も今一つである。	地域との交流を積極的に行い、地域に根差したグループホームづくりを目指す。	地域のイベントに積極的に参加する。また、散歩や買い物を通じて地域の住民との交流を図る。	6ヶ月
3	15	食事を楽しむための支援が不足している。	入居者様のかかわりを増やすことにより、食事に楽しみを感じられるようにする。	献立作成、買い物、調理、後片付けに入居者様が参加する機会を増やす。また、外食やおやつ作りを充実させる。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。